

# 令和六年度 学校関係者評価報告書

学校法人 秋吉学園 穴生幼稚園

## 1. 本園の教育目標

いつも明るく、心も体も強い子  
自分で考え、自ら気づく子  
ありがとう、ごめんなさいが素直に言える子  
物を大切にし、人に迷惑をかけない子  
規則を守り、集団生活に順応する子

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

一人一人の個性に向き合い、個別の指導計画を立て実践していく。年齢ごとの望ましい成長を参考に、他者との比較ではなく個々人のそれぞれの成長に寄り添い保育を行っていく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育計画と内容	一人ずつの個別の指導計画を作成し実践していく。
2	保育のあり方・子どもへの対応	クラスの決まり事など、保育者が決めるのではなく子ども自らやりたくなるような内容となるよう、話し合いの環境・配慮・声かけに注意する。
3	教職員間相互の協力・連携・役割	クラスごとの困りごとであっても、職員全員が情報共有し自分のクラスに落とし込んで考えることで、全体の知識や経験の底上げを図る。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

毎年末に自己評価を職員にアンケートを取ることが定例となり、自分自身の身の回りのことや保育を振り返り、新たな気づきの機会となっている。各職員はそれぞれがより高いレベルの保育を目指して日々悩み実践してくれている。必要であれば外部の機関と連携することで、より高みを目指す環境を整えていきたい。園庭の土を入れ替えるなど、安全面の更新を毎年少しずつ行っている。また、給食について、業者が変わったことでより細かな対応をいただけるようになった。フードロスは大きな社会的課題でもあるため、子ども達が無理なく完食できる量、メニューを探っていききたい。園児数の減少がこれからも更に進み、経営的には厳しい状況が続くが、適切な支出を心掛け園の環境をより良いものにしていきたい。これからもよりよい保育を目指す取り組みと、その保育内容を伝えるための写真やYouTubeを活用して、園内での様子を開示していく努力を続けていく。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育計画と内容	指導計画の立案や振り返りの流れを、専門の立場からアドバイスをいただける機会を作る必要がある。
2	保育のあり方・子どもへの対応	子ども達への関わり方に差が生じないように、サポートの先生と連携して取り組んでいく。
3	地域の関わり	小規模園・小学校との連携で乳児→幼児→小学生への成長の流れを記録し、よりスムーズな情報の伝達とより良い保育への情報交換を行っていく。

## 6. 学校関係者の評価

- ・子どもが日々楽しく通園しており、行事も充実しているため健やかに成長できていると思う。
- ・園の教育目標である「自分で考え自分で気づく子」とあるように、先生方のご指導で私生活でも「考え、気づく」が身に着くようになった。
- ・子ども一人一人の個性に向き合い指導を行えるよう保護者ともしっかりと話し、よりよい環境を作っていくとする取り組みに感謝している。
- ・給食の業者が変わり、イベントに合ったメニューがあることで、子どもが給食を楽しみに、無理なく完食できることが増えたように思う。
- ・園での様子を写真やYouTubeで見ることによって安心でき、家での子どもの関わり方にも役立っている。
- ・悪天候などの緊急時にも、家庭への連絡がスムーズかつ柔軟に対応してもらっている。